

ぶぢか 議会だより

第121号 2022.7.10



contents

- 町のこと一緒に考えましょう 出前議会報告・・・・・・・・・・2～
- 定例6月会議 令和4年度補正予算審議 附帯決議も・・・・・・・・5～
- 町長に質問！大島分校の将来のビジョンを示せ！・・・・・・・・8～
- 町長に質問！学校給食費と子ども医療費を実質タダに！・・・・10～
- 教えてシリーズ（第2回）議員は何をする人ぞ？・・・・・・・・13
- 「小値賀の重要文化的景観を語ろう」講演会を開きました・・・16～

（画像の一部を加工しています）

町のこと一緒に考えましょう

議員が皆さんの????に答えます

町民176名が出席

5月18日から27日までの間、2班に分かれて16地区で「令和4年度小値賀町議会出前議会」を開きました。お忙しい中、176名もの町民の皆さんにお集まりいただき、ありがとうございます。

出前議会は「町民とともに歩む議会」の実現をめざし、議会の監視・チェック機能や政策提言などの議会活動を地域に向いて町民の皆さんに直接報告・説明するものです。

また議会や町政に対する批判や意見・提言をうかがう機会でもあります。

主な事業を具体的に

出席された方には今年度の主要事業一覧表をお配りし、今年度の予算や計画している事業について、いくつか具体的に話しました。

議員のなり手を確保する

また、全国的に問題となっている議員のなり手不足問題に関連した本町議会の考え方を話しました。

全国の町村議会議員報酬の平均額は約21万4千円。

この報酬で子育てしながら暮らしていくことは難しく、このままでは特に若い世代の議員のなり手がなくなるという危機感を全国の多くの町村議会が共有し、今動いています。

本町議会としても、議員報酬(18万円)を次回の選挙(来年4月)から引き上げたいと考えています。

さらに議員定数については、昨年皆さんにご協力いただいた議会アンケートで、定数を減らすべきだと言った意見も少なからずありました。十分な委員会活動や議員間討議を行うために、また多様な意見の集約という点からも、次回の選挙も今ままでおりの定数8名で臨みたいと考えています。

議席番号													広報常任委員会								
議長	副議長	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	委員長	副委員長	委員	委員	委員				
横山弘藏	今田光弘	浦英明	末永一朗	黒崎政美	宮崎良保	松屋治郎							松屋治郎	今田光弘	末永一朗	黒崎政美	宮崎良保				
8	7	6	5	4	3	2	1	1	8	7	10										
警務教厚生常任委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	産業建設常任委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	監査委員	局長	書記	
	宮崎良保	松屋治郎	横山弘藏	今田光弘				末永一朗	浦英明	横山弘藏	今田光弘	黒崎政美						大田一夫	浦英明	西浩康	松田智恵美

役場3階の廊下に掲示している町議会構成 空欄が目立っています



29名出席の大島地区和楽苑のようす

多くの意見や疑問、要望をいただきました

最後に、参加した皆さんから出されたご意見や要望の一部を紹介します。

○各分団に女性の分団員を作れないか。

○町内どこも人手不足なの

に雇用促進事業で働く場を増やす意味があるのか。

○公衆トイレを洋式に替えたり新しく造ったりしてほしい。

○畜産業は町の主力産業であるのだから獣医師をしっかり確保してほしい。

○通学路の危険箇所への対応をしっかりとしてほしい。

○ごみ全般の取り扱いについての説明をもっとしてほしい。

○学校給食のスタッフ不足の中、給食を維持できるのか。

○ペットを扱う獣医さんを月に一度でもいいから呼んでほしい。

○新しい診療所ができるのだから、待ち時間をもっと短くしてほしい。

○医師の2名体制はしっかりと確保してほしい。

○人数より医師の質を高めしてほしい。

○町レクと小学校の運動会を合同でできないか。

○「ギカイの窓」を利用するとき、紙に書いて箱に入れるようにしたら高齢者にも便利だ。

ご意見や要望は担当部署にそれぞれおつなぎしますが、その中で改善できるものやさらに説明を要するものについては議会としても引き続き取り組み、問題の解決に向け、努力していきます。



筒井浦地区



浜津地区



木場地区

出前議会 2022

出前議会各地区のようす



中村地区



牛渡地区



斑地区



相津地区



大浦地区



納島地区



黒島地区



前方後目地区



笛吹在地区



唐見崎地区



笛吹地区



柳地区

定例6月会議



27事業がコロナで終わらず

前年度からの繰越 一般会計で約3億7319万円

2人が町長の考えを質す

令和4年定例6月会議を6月20日と21日に開きました。

初日は恒例の夜間議会として午後7時に始まり、まず出前議会の報告を今田光弘議員が行いました。

続いて西村久之町長の行政報告があり、その後、黒崎政美議員が「大島分校改修事業について」と「獣医師の問題について」、今田光弘議員が「若い移住者を増やすための子育て・教育環境の充実について」町長の考えを質しました（8ページ）。

補正予算で附帯決議も

今定例会議では、条例の一部改正が2件、一般会計など3会計の補正予算に対し慎重に審議を重ねた結果、すべて全会一致で可決成立しています。

なお一般会計補正予算の審議では、教育費の委託料についてさまざまな疑義が生じました。

そのため別室に会場を移して自由討議を行い、可決成立後に**附帯決議※①**案が出され、賛成多数で議決しました（7ページ）。



別室で自由討議

また**専決処分※②**の報告が2件、一般会計で19事業、特別会計で8事業の前年度の繰越事業が報告されました。

※①附帯決議

対象となる案件の可決後に事業を執行するうえでの議会としての要望や留意事項を述べるもの。法的な拘束力はないが、執行部はこれを尊重することが求められる。

※②専決処分

議会があらかじめ指定している事項に関し、議決を経ずに首長がこれら処分することができる制度。地方公共団体の運営に関する効率性を目的とするもので、本町では「会計年度末におけるいわゆる日切れ法案」に伴う条例の改正等についてのみ認めている。

※③耐力度調査

老朽化した建物の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、老朽化を総合的に評価するもの。所要の耐力度点数に達しない場合は改築などが必要となる。

一般会計補正予算

主なやりとり

当初予算には計上せず

○当初予算で1320万円計上されている総合体育館改修工事設計委託料に、さらに600万円追加補正するのはなぜか。

○天井からの雨漏りを防ぐための工事に必要となる耐力度調査(前ページ※③)に要する費用だ。

○当初予算時になぜ計上しなかったのか。アリーナ部



完成後25年以上経過している総合体育館

分の吊り天井が耐震的には既存不適格であることは個別設計画で事前にわかっていたはずだ。

○どうせ補正で対応すればいい、という予算軽視の現われではないか。

見通しが甘かった

○平成7年度に完成した建物のため、耐震基準はクリアしており、問題ないと考えていた。

○当初予算時には屋根を壊して取り替える工事を想定していたが、総合体育館は指定避難所でもあることから、短期間で工事が終わる改修工法を模索してきた。

○その中で、現在の屋根の上にカバーをかける工法が、より短期間で施工できることが分かった。

○天井が現状より重たくなってしまったため、非構造部材の補強が必要になり、耐力度調査をする必要が生じた。

○見通しが甘かったことは申し訳ないと思う。

○本来であれば、まず耐力度調査をして、その結果を

受けて初めて改修工事の設計をすべきだ。順番が違う。

○耐力度調査をしたのち、一気に基本設計、実施設計へと進めてしまうのか。

○そもそもそのような建物を指定避難所にする自体がおかしい。

○耐力度調査の結果が出た時点であらためて議会には説明をさせていただく。

○教育委員会と建設課の連携がうまくいっていないのではないか。

○今後しっかりと連携をとりながら進めていきたい。

【注】このやりとりには自由討議での質疑内容を含んでいます】

(関連記事)左ページ



○お話し居住施設整備工事費300万円追加の理由は。

○昨年度からの繰越工事だが、外構工事の資材単価が値上がりしたことが主な理由だ。

○閩低所得子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(一人5万円)の対象者は。

○57名を予定している。

○閩所得制限を設けていない自治体もあるが本町の考え方は。

○制限を設けていない自治体があることは承知している。検討していきたい。

○閩新型コロナウイルスワクチン接種の内容は。

○5歳から11歳までの2回分と、60歳以上の4回目を予定している。

○3回目接種後5か月以上の経過が必要なため、7月以降の接種となる。

○閩家畜診療業務委託料が620万円というのは昨年度より少ないのでは。

○職員獣医師は7月から赴任予定で、その間の応援獣医師への委託料だ。



附帯決議案の趣旨説明をする今田議員

可決成立後 附帯決議を議決！

教育費の補正について、前ページにあるように審議の中で当初予算時の計画の甘さや、予算の重要性に対する執行部の認識不足などが認められました。本来であれば「耐力度調査」をまず初めに行い、その調査結果を受けて長寿命化の是非も含めて検討し、その後基本設計、実施設計へとつなげていくもので、今回のケースはまったく順番が違います。また、予算は適正な見積をとるなどしたうえで、関



黒崎議員は起立せず

連部署とも十分に協議・検討して計上すべき神聖なものです。以上のようなことから、①予算は関係各課と十分に協議・検討を行ったうえで提出し、極力補正予算を組まないように努力すること。②耐力度調査終了後、その調査結果を本町議会に提示し、その後の計画について協議の場を設けること。とした附帯決議案が出されました。この決議案には松屋治郎議員が賛成討論を行い、起立採決の結果、賛成多数で議決されました。

特別会計補正予算

後期高齢者医療事業 **50万円増額** 5509万円に
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業（フレイル予防）における謝礼金12万円追加など

下水道事業 **960万円増額** 1億7040万円に
斑クリーンセンター非常用発電機の基盤更新工事費用として200万円追加
笛吹浄化センター無停電電源装置更新工事費として270万円追加など

条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯の国民健康保険税と、第1号被保険者の介護保険料の減免措置を令和4年度も引き続き継続することを決めました。

一般質問

町長!

「大島分校改修事業について」

大島分校の将来のビジョンを示せ!

ふるさと教育の原点 小中高一貫教育につなぎたい



黒崎政美議員

児童ゼロとなるにも関わらず改修する意義は

黒崎政美議員

老朽化した大島分校の安全性を確保するため、体育館の改修、校舎改修の設計費用1億1860万円が予算に計上されている。

児童数がゼロになる10年くらい先には、分校を廃校にしてもいいのではという声も聞かれます。

西村久之町長

一つの施策として、現在本町が推進している「ふるさと留学事業」の「しま親

型」を実施できないものかと考え、先日、大島地区に提案しました。

地区からはその説明会を開いてほしいと要望があり、開く予定です。

将来のビジョンをお示し願いたい。

大島分校の教育活動は、野菜づくりや磯遊び、昔遊びや祝い唄の継承など、地域住民を核として、地域資源を活用して取り組んでいます。

地区全体がPTA会員で学校行事にも皆が参加

この教育活動が、国や県が目指している「ふるさと教育」の原点だと私は思っています。

この教育活動を小値賀小学校本校にも取り入れ、さらに中学校、高校へとつなげ、本町教育の特色である「小中高一貫教育」のさらなる推進につなげていけるかと思っています。

補助金は、国・県で何%か。

今回の改修工事では、国が3分の1補助で、県の補助はありません。

町の財政状況に注意しながら、最小経費で最大の事業効果を発揮できるように事業を進めます。

大島地区は教育に非常に熱心で、学校行事には地区全体で参加しているが町長は把握しているか。

大島地区は全世帯がPTA会員で、地区会長がPTA会長を兼務しているなど、地域一体で教育活動が展開されています。

入学式や卒業式、学習発表会などの学校行事には地域の方々がほとんど参加しており、全国的にもこのような事例はそう多くないと思います。

このような地域で育つ子どもたちは郷土愛が強く、将来、地域の担い手となってくれる可能性が高いのではないかと思います。



人口は55人(6月2日現在)

町長！

「獣医師問題について」

何としても獣医師の確保を！

正職員2名体制を早期に実現したい

獣医師が定着しない

常勤獣医師不在解消を

園黒崎政美議員

最近、獣医師がなかなか定着しないと聞くがどうなっているのか。

◎西村久之町長

令和元年度から現在までに3名の獣医師を正職員として採用しましたが、うち2名は、都合により1年以内での退職となっております。

退職理由は、技術不足、労働意欲不足、そして何より生産者との信頼関係を築くことができなかつたことだと考えています。

現在は2名の獣医師に業務委託し、対応しています。

全国的に大動物専門の獣医師不足、引く手あまたとなっている獣医師の確保の難しさ、さらに定着していただくことの難しさを痛感しています。

園畜産農家にとって、獣医師確保は重要で死活問題であり、切実な問題である。

◎獣医師の確保は、本町の畜産業の振興を図るうえで

大変重要であり、獣医師がいなくては畜産経営は成り立ちません。

令和4年7月より、新たに獣医師1名を正職員として採用することが決まっております、できるだけ長く勤めていただくためにも、獣医師の正職員2名体制を早期に実現する必要があると考えています。

引き続き国と県に離島の獣医師確保について協力を要請しながら、募集を続けていきます。



町内飼養頭数は734頭（4月1日現在）

～質問を終えて～

（教育について）

第4次小値賀町総合計画（2014年～2023年）に描かれていることは何十年も前から既に大島地区では行っていることで、分校を残すための環境は整っている。

全国のモデルになるような島にしたい。

教育に熱心な西村町長なら可能であると信じる。

（獣医師について）

農業関連の生産高の70%は畜産であると聞く。

であるならば、農協（共済組合？）に任せても良いのではないかと。農協が町に委ねるのもどうかと思う。

傍聴席からひと言 （模擬公聴会）

私にも言わせて

大島分校の教育は素晴らしいと思うが、それを客観的に証明できる過去のデータなどの見える化ができれば、このまま大島の教育を続けていくという説得材料になるのではないかと。

獣医師が常駐していない中で家畜診療所長の印鑑は誰が管理しているのか。管理できているのか。

一般質問

町長!

「若い移住者を増やすための子育て・教育環境の充実について」

学校給食費と子ども医療費を実質タダに!

教育内容の一層の充実で応えていきます



今田光弘議員

今田光弘議員
全国的に人口減少・少子高齢化の中、多くの自治体
が移住者を増やすためのい
ろいろな施策に取り組み、
地域間競争は激化してい
る。

本町は2年連続で「社会増」だが、残念ながら若い移住者、子育て世代の移住者はそう多くはない。
若者が移住先を決める条件として、子育て環境と教育の充実が重要なポイントだと言われている。
本町でもさまざまな取

り組みや支援制度が充実してはいるが、さらに一歩進んだ施策が必要ではないか。

学校給食費の無償化を

問 小中学校の給食費の保護者負担分（年額約460万円）を町が全額支援してはどうか。

答 西村久之町長
無償化は現時点では考えていません。

現状の「兄弟2人目以降の半額補助」及び「食材購入費補助（年額約250万

円）」を継続していきます。問 無償化しようと思えばできるのでは。

答 若い移住者を増やすための子育て・教育環境の充実については、小中高一貫教育を柱とした教育内容の一層の充実により、応えていきたいと思えます。

子ども医療費を無料に

問 子どもの医療費を町が全額助成してはどうか。

答 子どもの人数が限られており、無料化してもその分の財政負担はそう多くはないと思えます。

しかし無料化することで医療機関への過剰受診を招き、医療費が増大して保険財政を圧迫する可能性もあり、医療費の増加は国民健康保険税の増額にもつながります。

当町の福祉医療費助成制度の中には乳幼児やひとり親、障がい者に対する支援などもあり、負担の公平性の点からも慎重に判断する必要があります。

給食人員

小値賀小学校	児童 86 名	職員 16 名
大島分校	児童 6 名	職員 5 名
小値賀中学校	生徒 41 名	職員 16 名
共同調理場		職員 4 名
	合計	174 食



議会アンケート 2021

「なり手不足の原因は？」

選択肢（複数選択可）	回答数	率
政治に関心がない	562	34.8%
議員と仕事の両立ができない	542	33.6%
家族や周囲の理解が得られない	335	20.7%
選挙費用がかかる	239	14.8%
議員報酬が低い	167	10.3%
その他	99	6.1%

前号に引き続いて、昨年7月に町民の皆さんにご協力いただいた議会アンケートの回答を紹介します。

「議員のなり手不足の原因はどこにあると思うか」については、左表の結果となりました。

これに関連した主な自由記述は下のとおりです。

皆さんの叱咤激励の声を重く受け止めながら、小値賀町議会は一步一步前に進みます。

こんな意見が寄せられました

- ・男尊女卑的な風土。
- ・町のうわさ。
- ・毎回同じ顔触れなので、新たに出馬しても人脈不足で当選する確信が持てない。
- ・選挙による派閥というか、いがみ合いやご近所トラブルに発展するくらい皆ヒートアップしすぎる。
- ・島での心無いうわさ。
- ・しがらみがある気がする。
- ・町民性（意見はするが、表に出ない）。
- ・一般の町民の方々からいろいろと評価されるのがいやだ。普通の職に就いた方が良い。
- ・遠慮がちな町民性。
- ・若者も小値賀を良くしようという気もなく、勇気もないようだ。
- ・この町をどうにかしたいという意思の欠如。
- ・若い人は、町民を代表できると自信が持てる世代ではない。

- ・議員の仕事内容を難しくとらえている人が多いと感じる。
- ・活動で町を良くしていけるイメージがわからない。
- ・興味が無いから。
- ・議員になる魅力を感じ取れないからでは。
- ・議員の役割が町民に伝わりにくい。
- ・政務活動費がないから、やりたいことができない。
- ・議員の仕事に魅力がない。

- ・自分のことだけ考えている人が多いから。
- ・争うことが好きじゃない人が増えている。
- ・議会などの雰囲気。日本人の性格。
- ・相当な勇気がいると思います。
- ・なりたいと思う人がいない。
- ・議員のイメージが悪い。
- ・議員になる資質があると思えないから。
- ・現在の議員を見ていると、なりたくないと思います。

教えてシリーズ(第2回)

「議員の仕事と役割」

議員は何をする人ぞ?

今、全国の町村議会で、議員のなり手が少ないと大きな問題になっていきますが、若者や女性だけでなく、そもそも議員になろうと考える人が少ないようです。

それほど議員の仕事に魅力がないのでしょうか。

議員の仕事とは、「具体的な政策の最終決定」と「行政運営の批判と監視」を完全に達成できるように、議

会の一員として懸命に努力すること、とされています。これでは難しすぎて何だかよくわかりません。では、実際に議員は何をしているのでしょうか。

定例会議と通年会期制

3・6・9・12月の定例会議のほか、通年会期制のため不定期的に本会議があり、出席が求められます。

もちろんただ出席すればいいわけではなく、事前に渡される議案や予算などに目を通し、しっかりチェックすることが必要です。

定例会議では、町の行政や財政の広い範囲の中で、疑問点を質したり報告や説明を求める「一般質問」をすることが出来ます。

質問といっても単なる質問ではなく「要求」や「追及」に近いもので、自分の考えを正々堂々と主張しながら、町長や教育長の考えを質していくものです。



一般質問は全議員に認められた権利です

委員会やいろいろな会議も

全員協議会や常任委員会では、議案を調査・審査したり、時には執行部からの説明を受け、議員同士でも活発な議論や意見交換がなされます。

議会運営委員会や「出前議会」、「議会と語ろう会」などもあって、その準備も含めるとなかなか忙しいものです。

また町外の各種会議に出席したり、先進地区の調査や研究のための視察、視野を広げたり専門知識を学ぶため県内や全国レベルでの各種研修にも積極的に参加しています。

逆に先進議会として視察を受け入れることもあります。

ほかにイベントや各種行事に来賓として出席することも少なくありません。議会だよりの発行も大事な仕事の一つです。

町民の声を聴くことが一番

以上のようにいろいろな仕事がありますが、実は議員の仕事の中で一番大事なことで、それは日ごろから町民の皆さんの声を聴くことです。

議員は町民の代表であり、皆さんが何を考え、どこに問題があるかを常に意識しなくてはなりません。

議員間でスタンスの違いも

もちろん議員個人によって仕事のスタンスや考え方の違いがあるのも事実です。

いろいろな考えを持つ人がいて、いろいろな違いがあつてそれが許される。

だからこそ議員は町民の代表と言えるのかもしれない。



工事現場事務所へも

町内のいろいろな工事などのようす

～日ごろから議会も現地に出向き、状況の把握に努めています～

可燃ごみ搬出用施設整備

搬出用施設は完成し、可燃ごみは島外に搬出しています。現在は効率的な回収方法の見直しなど行っています。

委託：(株)細川建設
金額：597万円
工期：令和4年6月



5トン車



5トン車



2トン車



2トン車

2トン車で回収したごみを施設でおろし 5トン車に人力で積み替えて島外搬出へ

本格的工事に入る準備は順調に進んでいます。

請負：(株)細川建設
金額：3460万円
工期：令和4年10月



唐見崎線災害防除工事

診療所の外構工事に合わせてアスファルト舗装工事を施工予定。

請負：(有) 出口建設
金額：264万円
工期：令和4年8月



筒井浦海岸線道路改良

新しい診療所建設

現在、1階と2階の外壁や内部工事の最終仕上げの状況で、7月には駐車場ほかの舗装工事を実施予定。完成後、医療器材の搬入と訓練もあり、診療開始までにはまだ時間がかかります。



請負：JV(株)上滝・大石建設(株)
金額：13億723万円
工期：令和4年7月



外観は完成の形が見えてきました

4棟建築。
現在は内装工事中。
外構工事は9月中、供用開始は10月中を予定しています。

請負：(株)友建設
金額：5060万円
工期：令和4年8月



お試し住宅整備(笛吹在)

資材・労務調達が予定どおり進まず遅延。
現在は通夜施設などの改修作業中で7月中の完成をめざしています。

請負：(株)細川建設
金額：4730万円
工期：令和4年7月



葬斎場改修工事(2期)

重要文化的景観を考える講演会

～小値賀の重要文化的景観を語ろう～



文化的景観とは

文化的景観とは自然と人間の営みによって形成された景観であり、私たちの遠い祖先の時代から地理的、歴史のなどさまざまな要因によって形成され、現在の私たちに引き継がれています。

「小値賀諸島の文化的景観（笛吹・大浦地区、唐見崎地区、大島・宇々島地区、柳地区、野崎島地区）」は、多様な地形的特徴を示す島嶼間の移動や近隣諸国との流通・往来に基づいて発展した港や居住地等によって形成される独特の文化的景観であるとして、平成23年に「国の重要文化的景観」に選定されています（現在までに全国で48件が選定されています）。

景観維持が難しく

しかし近年、老朽化などによる家屋の解体撤去や廃屋が見受けられるようになり、景観を維持することが難しくなりつつあります。

また、重要文化的景観の

内容や重要性について、多くの町民が、また町執行部でさえも理解が不足しているのではないかと感じます。

そこで本町議会では、3月27日に小値賀町文化的景観保護推進審議会会長である吉居秀樹長崎県立大学名誉教授をお招きして講演会を開き、町民の皆さんの疑問やご意見をお聴きしました。





住み続けられる仕組み

- 講演で話されたことをいくつか挙げます。
- 行政の手が入らないと景観は壊れていく。
- 移住者は感覚的に景観の良さを感じて小値賀に来て
- 交流で発展し、小値賀の人が守ってきた歴史がある町だからこそそれを続ける必要がある。
- 空き家関連の情報を整備して発信することが大切。
- 建物を残して維持管理するのはお金がかかり、町直営では無理なので、委託してお金を持ってこれる仕組みを。
- 今のうちに、維持できるか、維持するために何ができるかの検討を。
- 自分たちで維持して守っていく方法を考えていく。

町はそれに使える予算を具体的に提案する。そのため

- 住み続けられる仕組みが必要。普通に生活していくことが価値になる。
- 役場の本気度が重要で、地元が理解してくれば自分たちの誇りになる。その誇りが観光のウリになる。
- 重要な文化的景観は、世界遺産と密接につながっている。

町内の全地域が対象

地域の特性を活かしながら保全・修復・創出を図り、

一体的な景観・良好な景観の形成を進めるために、**本町は全域が景観計画区域に定められています。**

そのため、景観計画に定める方針や届出対象行為、行為の制限についても、町内すべての地域が対象となっています。

議会としても町民の皆さんの声を聴きながら、町執行部と力を合わせて文化的景観の保持に努めていきます。

講演後に多くの町民から質問が



町民の関心の高さに驚いていた吉居先生

産業建設常任委員会から

県が六島漁港内の一部に仕切り網を設置して食害から海藻を守り、母藻を育てて藻場回復をめざす実証業務を行っています。



六島漁港の網仕切り

藻場の回復に向けて

食害から海藻を守る

六島の現在ほとんど利用されていない漁港の一部に、海底から海面まで網を張り、イソズミやアイゴなどの魚の食害から海藻を守り、海藻を増やそうとしています。

アカモクなどの一年草のほか、アラメやクロメなどの多年草も確実に増えており、網で囲う効果は大きいようです。



海面まで届くアカモク



いろいろな海藻が増えてきました

次は母藻を本島へ

磯焼けの原因にはいろいろな説があるようですが、海藻を増やす取り組みを20年ほど続けている中で、このやり方が最も効果的だと産業振興課の担当者は話していました。

今後、ここで数年かけて育った海藻を小値賀本島の漁港や磯場に移植し、網で囲って増やしていきながら、さらには天然の海域で

海藻を増やしていくというサイクルができることをめざしています。

以前は本町議会では、磯焼け対策や藻場再生に係る特別委員会を設置して調査研究をしていましたが、現在は産業建設常任委員会での進捗状況を注視しています。



アラメやカジメもしっかり根付いています

(写真は産業振興課提供)

突撃取材 シリーズ12回目

～ まちなかステイ 一棟貸し～

「蒼の家」の名切元由美子さん

起業や事業拡大などで雇用の場を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業が7年目になります。町ににぎわいが戻ってきたような気がします。



空と海の青さから

役場のすぐ前で、清潔で安心・安全を提供している一日一組限定、一棟貸しの宿をオープンした名切元さん。
個人や家族旅行のニーズが高まり、高齢者や障がい者も手軽に泊まれる宿が求められていることから、「ナキリモト電気」の空き店舗を活用した宿をやるうと決

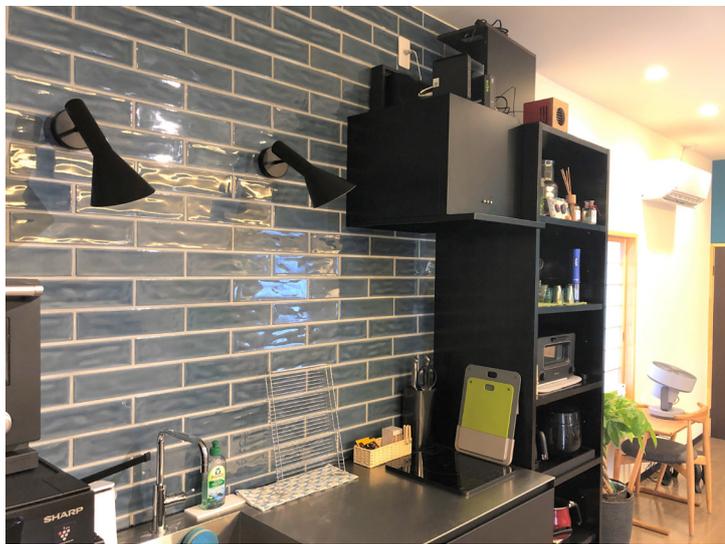
めたそうです。

島の空の青さ、海の青さ、どこまでも続く広々とした解放感を「まちなか」で感じられるように「蒼の家(あおのいえ)」と命名、小値賀弁の「あおく！」の意味も込められているそうです。



非日常の空間へと

室内に入ると、まず目に入るのはおしゃやかな青い壁。
天井まで届くミニキッチン
の壁タイルも素敵で、落ち着いたインテリアは私たちが非日常の空間へと誘ってくれます。
バスとトイレの壁は珪藻土のような触感の素敵な大判タイルで、リラックスタイムを楽しめます。



長期滞在や女子会も

Wi-Fiや2台のデスクのほかに洗濯機もあり、ワーケーションや長期滞在、女子会にも利用していただきたいそうです。

町内の旅館や民泊の経営者は高齢化が進み、後継者が見つからずに事業継続が見込めない現実もある中で、後継者を育て、ずっと継続していくことを目標に頑張っていきたいと話す名切元さんでした。



(表紙の写真)

「小値賀小学校運動会」

5月29日、お天気の神様は微笑んでくれました。コロナ禍も少し落ち着いて午前中だけでしたが観客も多く、久しぶりに大きな声援を聞いたような気がします。



スローガンは「感動！心をひとつに熱くもり上がれ！」



おしらせ

「ギカイの窓」開いています

小値賀町議会では、町民の皆さんのいろいろな意見をうかがい、議会活動へ反映させようと「ギカイの窓」を開設しています。

議会に対してだけでなく町政に対する質問、意見要望、相談や提言など、町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる場です。

まずは電話かメールで、議会事務局にご連絡ください。

相談は原則として、役場3階の議員控室で行います。

相談する議員は指名も可。指名がなければ、相談内容により当方で決めます。

相談内容の公開は、原則としてご希望に応じます。

なお、公共の福祉に反すること、個人的な要望、議員や役場職員に対する苦情などには対応できませんのでご了承ください。

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

小値賀町議会
Facebook



編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



編集後記

質素な暮らしが注目され、世界で最も貧しい大統領と言われたホセ・ムヒカ氏のリオ会議（地球サミット）での演説の一部を紹介したい。

【10万時間もつ電球を作れるのに、1000時間しかもたない電球しか売ってはいけない、私たちはそんな社会にいます】

【ハイパー消費が世界を壊しているにもかかわらず、高価な商品やライフスタイルのために人生を放り出しているのです。消費をひたすら早く多くしなければなりません。消費が止まれば経済がマヒし不況になります】

【貧乏な人とは、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことです】

「無欲なれば一切足る 求むる有れば万事窮す」

これは良寛の言葉である。私はウルグアイの元大統領の負けず嫌いで絶対に怯まないその精神に勇気づけられています。

(編集委員 黒崎政美)